
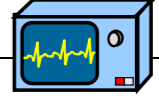





入院診療計画書(急性薬物中毒)

ID番号 _____ 氏名 _____ 様 _____ 症状 _____ 病棟 _____ 号室 _____
 病名(他に考える病名) _____
 担当医師 _____ 印 _____ 担当看護師 _____ 担当薬剤師 _____

月日	/	/
経過	病日1日目(入院当日)～病日2日目 	病日2日目～退院日
目標	・呼吸、血圧が安定している。	・呼吸、血圧、意識が安定している。 
検査	・入院の時間によってはレントゲンや採血があります。	・状態によりレントゲンや採血があります。
治療・処置	・医師の指示で心電図モニターと体の酸素化を測定するモニターを装着します。 ・必要時は酸素を吸ってもらったり、胃に管を入れたりすることがあります。	・医師の指示で心電図モニターと体の酸素化を測定するモニターを装着します。 ・必要時は酸素吸入を行います。
観察	・血圧、脈拍、体温を測定します。 ・飲んだ薬の種類や量による症状の出現や変化を観察します。	・血圧、脈拍、体温を測定します。 ・飲んだ薬の種類や量による症状の出現や変化を観察します。
注射	・水分が取れるようになり食事が開始になるまでは、点滴が必要になります。	・水分や食事がしっかりとれるようになれば、医師の指示で点滴が終了になります。
内服	・飲んでしまったお薬の内容によっては拮抗薬や下剤を飲んで頂くことがあります。 ・普段、飲んでおられるお薬の内容によっては、医師の指示の基、薬を飲んで頂くことがあります。	 
食事	・基本的には水分摂取、食事はできません。 ・状態や検査結果などで医師の許可ができれば水分・食事が開始になることがあります。	・医師の許可がでてから水分、食事が開始になります
行動	・基本的にベット上で安静に過ごしていただきます。 ・状態によっては体や手足の抑制をさせて頂くことがあります。 ・医師の許可があれば、排泄の時だけベットから離れることができます。 	・医師の許可があれば、意識や吐き気などの症状の程度に合わせてベットを離れて動くことができます。
説明	・医師から飲んだ薬による副作用の説明があります。 ・心配や不安なことがあれば、いつでもおっしゃってください。 ・病棟の面会時間などのオリエンテーションが看護師からあります。 ・場合によっては心身医療科医師の診察があります。	・医師から検査の結果を含めて退院可能かどうかの説明があります。 ・退院の許可があれば退院することができます。

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。
 注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

特別な栄養管理の必要性	有 ・ 無
-------------	-------

上記内容について説明を受け同意いたしました。

署名 :	続柄 :
------	------